

カーボンナノチューブを活用した透明導電膜作製技術の開発

【特徴】

- ・カーボンナノチューブを活用し、透明導電膜を低コストに作製する方法を開発
- ・ディップコート法によりフレキシブルなフィルム等へ連続塗布を実現

【活用が見込まれる分野】

透明度の必要な帯電防止用途等
フレキシブル製品への応用

【成果】

ディップコート法により低コストに連続塗布を実現

【内容】

○課題

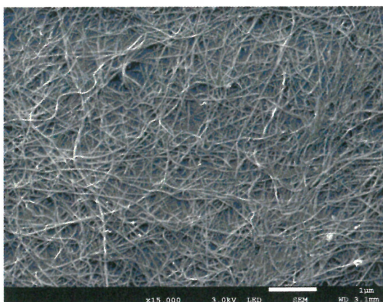
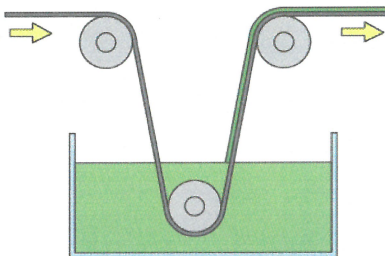
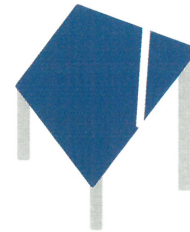
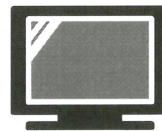
- ・低コストな塗布方法の開発

*透明導電膜とは？

電気を通す透明なフィルムのこと。テレビや太陽光パネルなど様々なところで利用されています。

○本手法

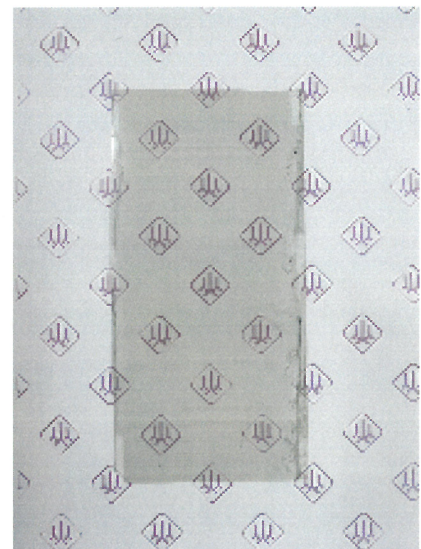
- ・塗布方法にディップコート法を採用



上:ディップコート法模式
下:透明導電膜の拡大図



ディップコート連続塗布装置



連続成膜した透明導電膜

○成果

- ・ディップコート法により低コストに連続塗布が可能

*カーボンナノチューブ分散液提供:大陽日酸株式会社

*ディップコート連続塗布装置製作:株式会社中家製作所

お問い合わせ先

山梨県産業技術センター TEL 055-243-6111